



Application

ベロ毒素遺伝子 VT1/VT2の定量

製品名

モバイル リアルタイムPCR装置 (PCR1100)

メーカー名

日本板硝子株式会社

下記のデータは、国内食品関連企業のお客様のご厚意により掲載させて頂きました。

実験概要

迅速検査法を検討中で、微生物検査の公定法と相関があるか確認するため実験を行った。

実験材料

ウシの生肉を一晚培養した菌体培養液を、98℃/8分加熱後、遠心処理し上清2.5μLを試料として用いた。

● 反応組成

PCR grade water	1.1 μL
Template	2.5 μL
VT1 F Primer (バイアルP1)	0.65 μL
VT1 R Primer (バイアルP2)	0.65 μL
VT2 F Primer (バイアルP4)	0.65 μL
VT2 R Primer (バイアルP5)	0.65 μL
VT1 F Probe (バイアルP3)	0.85 μL
VT1 R Probe (バイアルP6)	0.85 μL
2x KAPA Plant PCR Buffer	8.5 μL
KAPA 3G Plant DNA polymerase	0.6 μL
Total	17 μL

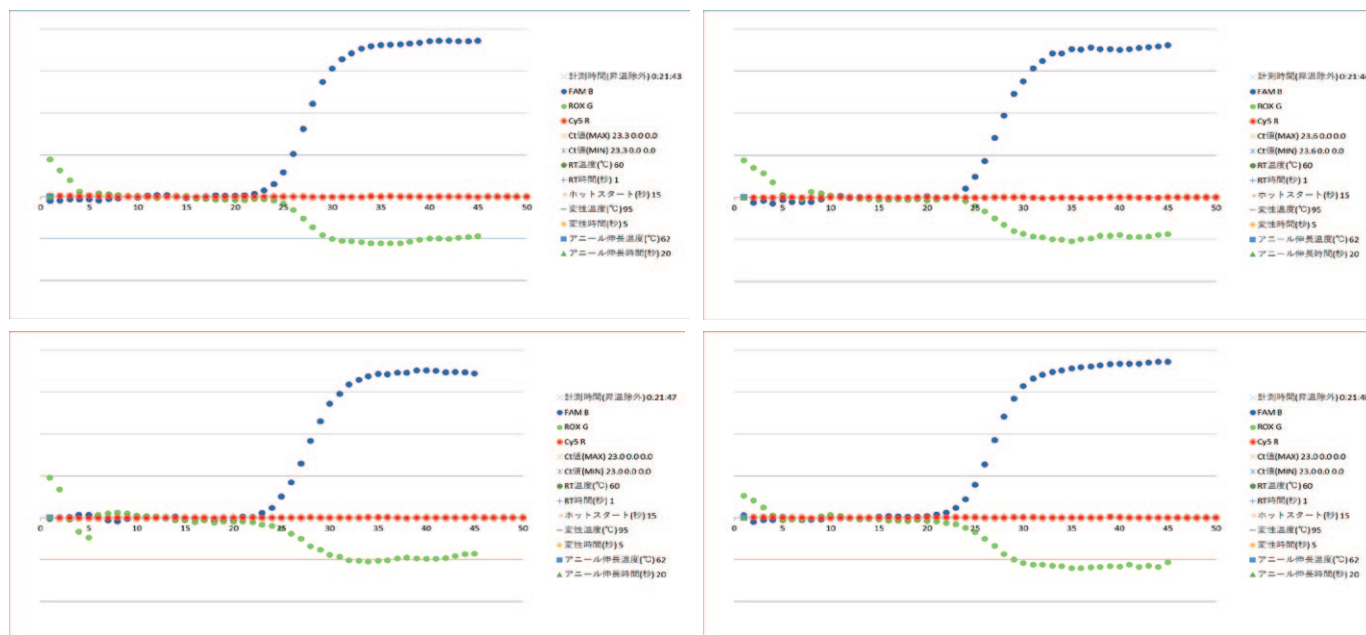
● 使用したプライマーとプローブ

VT1・VT2 遺伝子検出用セット 陽性 Ctrl 付
(日本遺伝子研究所 Cat.No.200203)

● 反応プログラム

Hot Start	95℃ / 15 sec
Denature	95℃ / 5 sec
Anneling	62℃ / 20 sec
Cycles	50 cycles

結果



お客様のコメント

いずれの検体も、公定法による他測定方法で陽性と判定されており、本装置を用いた検出でも同様に陽性と判定されたため公定法での他測定方法と相関があると判断できた。